

観光立国の実現に関する目標について

考え方

- コロナによる変化やコロナ前からの課題を踏まえ**質の向上を強調**するとともに、地域の目標への引き直しやすさも考慮。
- 今後の世界的なコロナの収束見通しが不透明であることも踏まえ、**人数に依存しない指標**を中心に設定。

目標

地域づくりの
体制整備

- ① **持続可能な観光地域づくりに
取り組む地域数** (新たに設定)

実績
(2022年)
12地域
(うち 国際認証・表彰地域6)

早期達成を
目指す目標

2025年目標

100地域
(うち 国際認証・表彰地域50)
(大幅増・全国に展開)

インバウンド

- ② **訪日外国人旅行消費額単価** (新指標)

(2019年)
15.9万円/人

旅行消費額
5兆円

20万円/人
(2019年比25%増)

- ③ **訪日外国人旅行者一人当たり
地方部宿泊数** (新指標)

1.35泊

1.5泊
(2019年比10%強増)

地方部を訪れる
2人に1人が
もう1泊する
水準

- ④ **訪日外国人旅行者数**

3,188万人

- ⑤ **日本人の海外旅行者数**

2,008万人

} **2019年水準超え** (注)

- ⑥ **国際会議の開催件数割合**

アジア2位
アジア主要国シェア約30%

アジア最大の開催国
アジア主要国シェア3割以上

国内

- ⑦ **日本人の地方部延べ宿泊者数**

(2019年)
3.0億人泊

3.2億人泊
(2019年比5%増)

- ⑧ **国内旅行消費額**

21.9兆円

20兆円

22兆円
(2030年目標の前倒し)

(注) 世界的なコロナの収束見通しが不透明な中で設定したものであることに特に留意が必要。